

2012年以降に発表された自動車部門の投資計画・労使間合意

メーカー	発表時期	生産受注または投資計画	投資額 (100万ユーロ)	主な労使間合意	雇用効果 (見込み)
フォルクスワーゲン(VW)	2012年 12月	・2012～2016年に、小型車「Polo」生産終了後の新型車種受注を視野に入れた設備投資	785	・労働時間口座の柔軟化(所定の年間労働時間のうち、受注量の増減に応じて調整可能な時間数の上限を従来の7日分(超過)・10日分(短縮)から、15日分に拡大)	雇用維持
セアト(VWグループ)	2013年 1月	—	—	・給与の一部を業績連動型に ・超過勤務手当の60%削減と引き換えに、2013年中の一時帰休を撤回。 これとは別に3月に非正規従業員400人の雇い止め。	340人の解雇を回避
ルノー	2012年 11月	・2014～2016年にバリアドリード工場(新型小型SUV「Captur」、バレンシア工場(乗用車「Megane」次期4モデル)で新型モデル生産 ・各工場部品サプライヤー網の拡充・強化	未発表	・給与引き上げ抑制(CPIの50%のみ反映、残り50%は業績次第)	1,300人の新規雇用
日産	2012年 5月	・2014年よりバルセロナ工場で新型ピックアップ「OneTone」を生産 ・2013年よりバルセロナ工場で電気商用車「e-NV200」を生産 ・2013年末よりアビラ工場で新型小型トラックを生産 ・カンタブリア部品工場に設備投資	300	・2011年に給与引き上げ抑制、労働時間の弾力化で合意	700人の新規雇用
	2013年 2月	・2014年7月よりバルセロナ工場で新型小型乗用車を生産 ・2014年よりバルセロナ工場で生産する新型ピックアップ「One Tone」の追加受注 ・2013年よりバルセロナ工場で生産するe-NV200の減速ギア(部品)の組み立ても追加受注	130	・バルセロナ工場で二重賃金制度(新規採用者の賃金を現職よりも20%引き下げ、職場内訓練を提供)	1,000人の新規雇用
PSAプジョー・シトロエン	2013年 1月	・2013年中頃よりビゴ工場でバン「C4 Picasso」の生産開始 ・2013年末よりマドリッド工場で小型乗用車「C Cactus」を生産	未発表	・給与引き上げ抑制	未発表
フォード	2012年 10月	・2014年末に閉鎖予定のベルギー工場から、中型車「Mondeo」、ミニバン「S-Max」、「Galaxy」の次期モデル生産を移管	未発表	・一時帰休制度の適用が容易、同工場の労使関係の柔軟性により、グループ内でflexi-plantとの位置付け	未発表
イベコ	2012年 6月	・2012～2016年以降、マドリッド工場で大規模トラック生産能力を倍増、ドイツからトレーラーヘッド「Stralis」生産移管、研究開発(R&D)センター開設 ・2014年より、バリアドリード工場で商用車「Daily」の次期モデルを生産	500	・2010年に大規模な人員調整 ・現在、バリアドリード工場の労働条件柔軟化について労使間交渉中	1,200人の新規雇用

(出所)2013年1月末までの各社発表・報道を基に作成